

函西さっぽろ

第17号
 2021年9月1日
 発行数：2000部
 編集長：堀田正英
 事務所：
 〒001-0045
 札幌市北区麻生町
 9丁目2番1-1103号

今秋開催予定でした「第56回つゝじヶ丘同窓会札幌支部総会&懇親会」は、今年もコロナ禍の影響を考慮し中止する事となりました。
 来年7月の総会こそは、同窓生と和気あいあい元気にお会いできるよう期待しております。



「同窓生の皆さまへ」

札幌支部長 竹林 進(17回生)

令和2年2月頃から、新型コロナウイルスが瞬く間に感染拡大し1年以上が経過しました。

今年に入り先ず医療従事者からワクチン接種が始まりましたが、国民全体が接種を2回受け終わるまでには、まだまだ時間がかかるようです。

最近になって、やっとそのワクチン効果が少しずつ良い方向に向かい始めているようですが、北海道は「緊急事態宣言」の後、7月11日まで「まん延防止等重点措置」が適用されました。それから1ヶ月も経たないうちに「まん延防止等重点措置」の期間が8月2日から8月31日まで再設定されました。いまだに好転の兆しは見えず、コロナウイルス根絶の見通しは立っていない状況です。

昨年6月3日札幌支部では平成2年度の総会に向けて第

1回役員会を開きましたが、予定されていた10月10日(土)総会・懇親会の開催については、中止することで皆様にお知らせをいたしました。

札幌支部は、いままで昭和41年度第1回から第54回まで連続して総会を開催してきましたが初の中止となりました。

10月10日は、ちょうど同じ日に予定していた函館本部の同窓会日程とも重なっていました。また、本部の方も中止しました。また、東京支部の総会も今年5月8日に予定していましたが中止となりました。

今年7月15日(木)第1回役員会を開催しました。その結果、昨年同様コロナの収束状況が見通せないことから今年度の「札幌支部総会&懇親会」を昨年に引き続き中止することにしました。

来年度の「札幌支部総会&懇親会」については、今後の

感染状況を見ながら判断することになります。7月9日(土)を予定しています。数年前から、札幌支部では総会出席者、会費納入者の横ばいしないしは減少傾向が続いています。

そこで昨年「令和2年度版の会員名簿」が刊行されたことから、これを契機に今年は住所録の洗い出しを行いました。さらに若い卒業生を対象に支部同窓会への参加を呼び掛けて行きたいと考えています。

新聞報道等によれば、このコロナ禍のなか、学校の教育課程は大幅な変更を余儀なくされ、学校の遅れを取り戻すため夏休みも短縮するなど、多くの授業は時間的な制約を受けています。このため学校関係の方々にはデジタル化によるオンライン学習への転換、変則授業や分散登校など、対応に苦慮されていることと思えます。

今は日本中の人々が過去に経験したことのない禍の中にいます。ステイホームもいつの間にか日常となり、家で過ごす時間が増えている方も多いのではないのでしょうか。それまでごく当たり前のよう流れれていた時間を修正しなければなりません。個人的には

終わりの見えない闘いがまだ続くのかと思うとテンションがさがります。とはいえ、落ち込んでばかりはいられません。

いまはコロナ禍で難しくなっていますが、「人と会う」ということの大切さを改めて感じています。

新型コロナウイルスの一日も早い事態の終息を願い、みなさまのご健康を心よりお祈り申し上げます。(令和3年8月)

【逝去のお知らせ】

つゝじヶ丘同窓会札幌支部、副支部長の久松由貴子さん(78歳)が昨年(令和2年)11月7日ご病気で逝去されました。

久松さん(11回生)は、長年にわたり札幌支部役員として、同窓会の発展にご尽力されました。

特に平成28年度札幌支部50周年記念の時には、作家森真沙子氏(11回生)の講演会誘致にも積極的に活躍され、総会を盛り上げていただきました。

昨年の会報には久松さんから「函館同期会紀行」と題して喜寿の同窓会の楽しかった様子などを寄稿していただきました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

「函館の啄木と妻節子」

長谷部 和夫（10回生）

函館住吉町の市有共同墓地入口に東海山六能院地藏堂がある。

ここでは毎年4月13日、啄木を偲び函館啄木会主催による「啄木忌」が行われているが、コロナ禍のため昨年と今年は残念ながら中止になった。このお堂には百体地藏尊がまつられており、やや左側に啄木一族七人の名前が刻まれた位牌がおかれている。

啄木石川一（はじめ）が「石をもて追われるように」故郷を出て函館に渡って来たのは明治40年5月5日、それから2か月ほどして妻節子と長女、啄木の母が来て青柳町に居をかまえた。

啄木と節子が盛岡で結婚したのは二人とも満19歳の時、その後故郷渋民村では代用教員になったものの校長と意見が合わず生徒を先導してストライキを決行、わずか1年で免職になった。

しかし生活のため、以前から函館の同人雑誌に投稿していた縁でその仲間の伝手を頼り来函した。

仲間の紹介で弥生小学校の

代用教員になるも、ある不平から2か月ほどで怠業、籍をおいたまま函館日日新聞に勤務したが生活は困窮、このため節子が持ってきた着物などは質草となった。

このとき利用した質屋は護国神社坂下にある「入村質店」で、現在「茶房ひし伊」として営業しており、幾度もの大火をまぬがれたこの土蔵は明治38年頃に建てられたものらしい。



節子がよく利用した「入村商店」
（現在は茶房「ひし伊」）

少し落ち着いたところに区内の半分を焼失する大火にあり、132日いた函館から職を求めて札幌の新聞社に就職したが14日で辞め小樽の新聞社へ、しかしここも社の内紛で辞め115日で釧路新聞社就職のため単身赴任した。

ところが女性や借金の問題でわずか76日ただけで函館に戻ってきた。

以前、二度ほど東京で文学活動をしたが上手くいかず、しかしどこにいても「東京病」が起こり、再度東京での活動をするため函館の知人（後に義弟となる宮崎郁雨）に家族を頼み単身、都門に旅立った。当初は3〜4か月ほどで家族を呼び寄せると言っていたが、定職に就かず小説を書いていたもののまったく売れず残された家族への仕送りもなかったため、妻節子は宝小学校的の代用教員として勤務することになった。

ここは現在、西別院そばにある函館市女性センターになっており、入口手前に宝小学校的の校歌碑が建てられている。当時、宝小学校的の生徒数は一学級70人を超え25学級くらいあったので、おそらく200人ほどの生徒がいたと思われる。節子は夜遅くまで仕事をした。

しかし、啄木が東京朝日新聞の校正係に就職したので函館の家族は揃って東京で暮らすことになったが、借金や質屋通いは相変わらずでそのうえ母がもっていた結核が一家に感染、悲惨な生活を送ることになる。

その中で長男が誕生したもののわずか24日で亡くなり、このときできあがった歌集「一握の砂」は葬儀費用になつた。

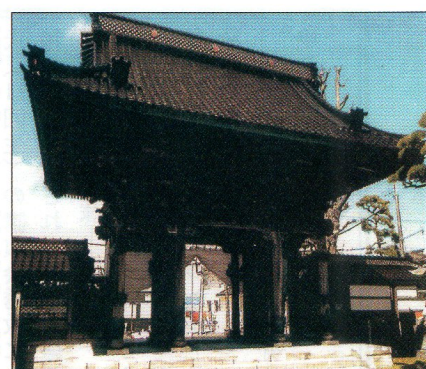
それから2年もたたない明治45年3月に母、4月13日に啄木（26歳2か月）がいずれも肺結核で亡くなった。

このころ節子も結核に罹患しており妊娠していたので、知人の紹介で千葉房州に移りこの地で次女を出産した。二人の子供をかかえた節子はどうすることもできず、盛岡から一家で函館に移住していた両親を頼り再び函館の地を踏むことになったが、病のため同居はかなわず二人の子供と共に青柳町に住むことになった。

ところが節子の病状が悪化したため豊川病院に入院、しかし東京に埋葬してきた啄木、長男そして義母の遺骨が気になり、後の函館図書館長岡田健蔵にその引き取りを頼んだ。

遺骨が無事にかえってきたことを知った節子は、大正2年5月5日奇しくも啄木が函館に来た日に26歳7か月で亡くなり、葬儀は台町（現船見町）高竜寺で執り行われた。

両親に先立たれた遺児二人は、節子の父母堀合家に引き取られその兄弟たちと一緒に



節子の葬儀が行われた高龍寺の山門

に暮らすことになった。長女京子は弥生小学校から女子小学校を卒業そして遺愛女子学校に進学した。このころ新聞社に勤めていた記者と知り合い退学、19歳で結婚する。

結婚式は五島軒でおこなわれ函館で二児をもうけたが、その後一家四人は東京での生活を始めたものの、生来病弱だった京子は急性肺炎のためわずか23歳で亡くなった。

もう一人の次女房江は弥生小学校から聖保祿女学校（後の函館白百合学園）西高のすぐ下）に進学し卒業、京子一家と共に上京、結核治療のため茅ヶ崎南湖院に入院したが、姉京子の後を追うように13日後18歳で亡くなった。

遺児二人は両親の年齢を超えることなく亡くなったが、京子の残した子供たち二人は長じて結婚し石川家は連綿と引き継がれている。

「森田芳光と函館」

成田 明 (19回生)

天才詩人と謳われた啄木は生涯、短歌約4000首、詩364篇、小説5篇、評論、感想約100篇、歌集「一握の砂」「悲しき玩具」など正味10年程の活動でこれだけの作品を残した。

一方、借金も今の金額に換算すると約1500万円にもなり、生活者としての啄木はいかに無力であったか、残した借金メモが物語っている。

最後に余談になります、節子にろくという妹がおり北海道庁立函館高等学校の第14回生(大正11年卒業)で我々の先輩だったので。名簿に佐分利(堀合)ろくとあります(結婚して佐分利姓)。

稚拙な文章でお恥ずかしい限りですが、啄木一家の函館生活の一端はお分かりいただけたかと思えます。

歌集「一握の砂」に掲載されている551首はすべて東京で作られたもので、この作品のなかに函館の地名がついた歌は5首あります。

いずれも函館当時を回想して詠んだ歌ですが、そのうち特に自分の好きな歌を一首紹介し終わりたいと思います。

しらなみの寄せて騒げる

函館の大森浜に

思ひしことも

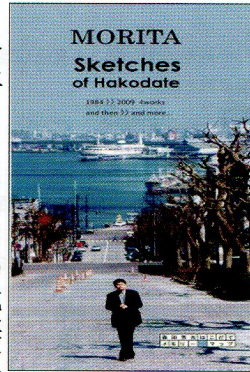
森田芳光、1950年1月25日、東京都渋谷区円山町に生まれる。2011年12月20日急性肝不全のため死去、享年61歳、映画監督である。劇場長編デビュー作

【の・ようなもの】(1981年)、新米落語家、志ん魚(伊藤克信)とソープ嬢(秋吉久美子)や落研の女子高生たちとの交流を描き、ヨコハマ映画祭の作品賞と新人監督賞を受賞する。5本目が【家族ゲーム】(1983年)である。キネマ旬報ベストワン、監督賞、脚本賞を始め多くの映画賞を受賞した。この作品では、主人公の吉本勝(松田優作)が家庭教師先の家族4人と横一列に並んで食事をするシーンが話題を呼んだ。再度松田優作とのコンビで夏目漱石の【それから】(1985年)を映画化すると、この作品もキネマ旬報の作品賞と監督賞を受賞する。しかしながら、この最強コンビは1989年松田優作の死で終わりを告げる。

森田監督の遺作は【僕達急行A列車で行こう】(2012年)であった。生涯27本の作品は、コメディ、アイドル物、ロマンポルノ、文芸物、ホラー、時代劇など幅広いジャンルに及んでいる。函館(郊外も含む)はロケ地として多くの映画に登場している。ウィキペディアによると、最初の映画は【若い人】(1937年豊田四郎監督)である、もちろん原作は石坂洋次郎で、舞台となったミッシェンスクールは遺愛女学校なので、当然と言えば当然ではある。今年まで約90本近く撮影されているが、最新作は今年10月公開予定の佐藤康志原作映画化5作目の【草の響き】である。

森田芳光は実に4本(【ときめきに死す】【キッチン】【海猫】【わたし出すわ】)で函館を舞台にしています。他の監督ではどうかと調べてみると3本という監督がいましました。日活の斎藤武市監督です。作品は【ギターを持った渡り鳥】【北帰行より 渡り鳥に帰る】【骨まで愛して】です。前2作はご存じ小林旭主演の渡り鳥シリーズです。

【ギターを持った渡り鳥】は実家のそばの公会堂でロケをしており、見にいって記憶があります。【骨まで愛して】では、ハリストス正教会の場面で浅丘ルリ子と松原智恵子が出てきますが、製作が1966年なので、当時西高に通っていた同窓生で撮影を見た方がいるかもしれませんね。ちなみに、西高卒業生の辻仁成も1本撮っています。アントニオ猪木主で自作小説を映画化した【ACACIA】(2010年公開)です。さて、話を森田監督に戻しましょう、函館について、「函館を好きな理由は、まず空気がきれいなこととです。飛行機を降りてすぐ感じます。津軽海峡と日本海ふたつの海の潮風がブレンドされて、ひんやり透明な空気感をつくっているんじゃないでしょうか。色彩もきれいで、湿度の低い涼しい感じが僕の映画の心象にあっていると感じます。それから風景の多彩さです。山もあれば海も、坂もある。港町も、商店街もある。路面電車は僕が子供だったころに東京を走っていた都電のように懐かしい雰囲気だし、そうかと思うと新しくモダンな建物もあつて、映画に必要な風景がコンパクトに揃っている。まち



八幡坂に立つ森田芳光

今年7月25日の北海道新聞日曜版「五感紀行」で、函館の裏夜景について特集されました。裏夜景とは函館山の反対側、市街地の北からのぞむ夜景である。「そんな夜景に早くから注目したのが森田芳光監督だった。89年の映画【キッチン】で東山ロケを敢行した。『生活臭を感じさせない、時間を超越している街のような気がした』函館での撮影をこう説明した森田監督。この作品以降、函館は日本映画のロケ地として定着する。『どこかにもない街』として、どこにもない街として」。

今年が生誕70周年記念プロジェクト・森田芳光70祭

で全作品ブルーレイBOXが発売されます。

それでは、「ときめきに死す」から観ていきましょう。

1984年公開で、【家族ゲー

ム】の次回作です。話題作を撮った後にはオフアアが沢山

あるのが普通ですが、2、3件しかなかったとのこと。原

作（丸山健二）を読んだが、ヒットは難しいと思ひ断ろう

と思つていたら、主演が沢田研二ということで引き受けた

そうです。ストーリーは、歌舞伎町で医師をしていた大倉

洋介（杉浦直樹）が殺し屋の若者、工藤直也（沢田研二）

の世話をし、それにコンパニオンの女性、梢ひろみ（樋

口可南子）が加わり、失敗に終わる暗殺決行までを描く。

舞台を信州の避暑地から函館（監督の強い希望で）、暗殺

対象を政治家から新興宗教会長になど原作を大胆にアレン

ジしている。冒頭、大倉が工藤を迎えるシーンで出てくる

のが「渡島駅」という田舎町の駅舎である。この駅は昔の

「渡島大野駅」である、そう現在は新幹線「新函館北斗駅」

です。駅舎の看板をそつくと「渡島大野駅」から「渡島駅」に掛け替えて撮影しました。

大沼などから汽車通していた同窓生には懐かしいかも。函

館市街のロケ地は3人が食事するところが「五島軒本店」

で、後は大倉と工藤がボートで釣りをするのが大沼公園で

岩場の海水浴場や小さなトンネルが連なっている海岸線道

路はどこだろうか、エンドロールに松前町とあるので、その

あたりかな。また泳ぐ男役でザ・タイガース時代の同僚、

岸部一徳も出演しています。この撮影時の宿泊先が湯の川

の「温泉旅館丸仙」で、撮影監督の前田米造が「我々ロケ

隊の宿泊先の川を挟んだ向こう側には「居酒屋兆治」の降

旗康男組の旅館があつて、伊丹十三さんもそこにいらして

たんです。そこで寿司ぶらさげてこちらにもよく遊びに

来てくれました。ちょうどその時期は相米慎二監督の【魚

影の群れ】も函館でロケしていたらしく、いっぺんに三つ

のロケ隊が北海道に来ていたということになりますね。」

と書いています。この作品は予想通りヒットしませんでした

が、監督は自分ではすごく好きな作品と言っています。画面からは、北海道の涼しさ

が感じられ、三人の乗っている車の360度パン撮影など随所に斬新なシーンもありス

タイリツシユな映画に仕上がっています。ただ、一つ疑問と

いうか不思議なのは、コンピュータ画面で工藤の経歴が表示さ

れたときに、出身が登別で最終学歴が北海道立登別高校とな

っているのです。この高校は現在は統合され校名も変わ

ていますが、当時は現存していた高校です。架空の校名に

するのが普通ですが、どうしてそうしたのかどうして登別

なのか監督に聞いてみたかった。他の3作品については次回に続きます。

参考図書…「森田芳光組」映画作家森田芳光の世界（共にキネマ旬報社）

【編集後記】

今年も支部総会および懇親会が中止となりましたが、何とか会報を発刊する事が出来ました。

今回は、長谷部和夫さん、成田明さんから函館にまつわる雄文を寄稿していただき、心より感謝申し上げます。

コロナ禍によって日常生活が様変わりしていますが、時には函館の街並みや高校時代を懐かしみ思い出してみても如何でしょうか。

引き続き同窓生皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、宜しくお願い致します。

（堀田由美）

～2020年に届いたメッセージ照会～（敬称略）

- 牧野 み糸 (高女39) 大変おそくなり申し訳ございません。私共39回生は終戦の時立高女4年生で8月終戦を迎えました。その後、翌年希望者で2クラスの5年生が出来て、その後1クラスの専女科（函館市内の女学校からもテストを受けて何人かが入りました。）そのおかげで楽しかったです。
- 郡司 慶子 (西2) 立派な同窓会名簿を届けて頂きありがとうございます。大切な宝物として眺めて皆様の消息を懐かしく拝見します。皆様の御健康御多幸祈念申し上げます。
- 堺 ゆき子 (西4) 昨年の総会では4回生が最年長でした。元気でおりますうちは出席いたしたく存じます。諸先生、後輩の皆様のご健勝をお祈りいたします。
- 白畑 力 (西6) 今年は残念です。でも又来年もありますように。
- 藤谷 幸夫 (西6) 監事の皆様、ご苦労様です。コロナの影響で総会が中止になり残念です。今後とも宜しくお願い致します。今年は郷帰りも出来ず寂しい限りです。
- 井上 忠純 (西6) 新役員の方ご苦労様です。よろしく！！
- 中川 誠 (西6) 会の益々の発展を祈念致します。
- 穴戸 正明 (西8) 遅くなりましたが、年会費送金します。よろしくお祈りします。
- 奥村 泰三 (西9) 札幌市内での3回目の転居に及び、返事が遅れた点すみません。
- 大森 彬生 (西9) 2019（令和元）年度会計報告書：承認
- 久松由貴子 (西11) 発送お手伝いできず残念です。来年に向けて体力をつけるように心がけます。
- 前田 和子 (西12) コロナが早く終息して欲しいですね。
- 渡辺 功 (西14) コロナに負けず体に気をつけましょう。
- 荒明 洋 (西15) 2019年度会計報告書承認です。今後共よろしくお祈りいたします。新会長には支部発展のことをお願いします。
- 木村 登美 (西16) いつも御苦労様です。
- 木村由紀子 (西17) 役員・幹事の皆様おつかれ様です。又この度は17回生竹林進さん札幌支部長ご新任ご苦労様です。いつかお会いしたいですネ。
- 日下部芳久 (西17) 会の益々の発展をお祈り致します。
- 藤田 基子 (西17) 引越しました。住所変更お願いします。
- 菊地 裕 (西17) ヨロシク、お願い申し上げます。
- 藤田 耕一 (西17) 幹事様、ご苦労様です。
- 上野イク子 (西18) お世話をかけます。令和元年度会計報告書承認します。
- 菅林 恭子 (西18) また、楽しく集まれる日を待っています。
- 河島 秀治 (西19) 老人クラブの集まりにならないよう若い人達の参加も望みます。
- 吉田 等 (西19) 今後とも、継続されますようよろしくお願いします。
- 千龍 季子 (西21) つづいけ丘同窓会札幌支部皆様の健康と平安を祈っております。
- 宗倉千佳子 (西24) 同窓会へのご尽力感謝しております。
- 菩提寺孝幸 (西33) 役員の皆様いつも有りがとうございます。何のお手伝いもできず申し訳ございません。
- 小山 亜以 (西37) 皆様と集まることが叶わずとても残念です。その分来年に期待し、コロナ終息を祈りたいと思います。